

2012年度 社団法人 長岡青年会議所
農と地域活性化委員会

元気な長岡プロデュース事業 〈研究編〉 報告

事業概要

事業名について

元気な長岡プロデュース事業

事業名について

「元気な長岡」とは・・・



この事業で目指す長岡が活性化した姿のこと

事業名について

「プロデュース」とは・・・



様々な人が集まって、
お互いの「強み」を活かし、
長岡の地域活性化策を考え、実施すること

みんなの“できる”が集まって
長岡の“できる”になる

みんなの“できる”が集まって
長岡の“できる”になる



様々な人が集まり、
お互いの「強み」を活かして
アイデアを出し合い、

農業の可能性や長岡の魅力などをパッケージ化
した地域活性化策を考えて、それを実行しよう！

みんなの“できる”が集まって
長岡の“できる”になる



お互いの「できる(強み)」
が集まって、
長岡の「できる(強み)」
に変わる！

農業を活かす理由

農業の活性化は
地域の活性化に繋がる！

農業の活性化が
地域の活性化に繋がる3つの理由

理由その1

「食」の面ですべての人と関わっている

農業は「食」の面ですべての人に関わり、
米に関しては、長岡は全国トップクラスの算出額
を誇り、「コシヒカリ」という強いブランドを有する



農業の活性化が
地域の活性化に繋がる3つの理由

理由その2

多面的な役割を担っている

農業は食料の供給を支えるだけでなく、
環境保全、景観やコミュニティの形成など、
多面的な役割を担っている



農業の活性化が
地域の活性化に繋がる3つの理由

理由その3

波及効果が期待できる

農業は生産から消費者の
食生活に至るまでの過程
で様々な事業者と関わりが
ある上、長岡では農業に関
わる人が多く、波及効果が
期待できる



写真 By emrank
<http://www.flickr.com/photos/emrank/4091120247/>

農業の活性化が地域の活性化に繋がる3つの理由

長岡にとって農業は大切な“**地域資源**”



この資源を活かし、
活性化すれば
地域の活性化に繋がる！

事業の流れ

研究編

(平成24年4月上旬～6月)

- 討論会の開催
- 勉強会の開催
- 交流会の開催
- インターネット活用による情報の共有

実践編

(平成24年7月～10月)

- 参加協力者の共働による事業の構築と実施

4月12日まちなかキャンパス
第1回討論会・事業説明会

第1回討論会のねらい

1. アイスブレイク
2. 意見の拡散
3. 長岡の活性化が目的である事の意識付け

第1回討論会 熟議テーマ

「これが活性化した長岡だ！」

第1回討論会のゴール

**活性化した長岡の姿をあげて
みんなで共有する**

第1回討論会の手法



「熟議」



『熟議』とは？



ブレインストーミング
ワークショップ

- ◆ お互いの立場や役割について理解を深める
- ◆ 話し合いが深まり、アイデアが洗練される

写真 By jctstone
http://www.flickr.com/photos/jctstone/3086697314/

熟議の5つのルール

必ず守ること！

ルール1 批判禁止

ルール2 自由奔放なアイデアを歓迎

ルール3 他人のアイデアに相乗りOK

ルール4 質より量を歓迎

ルール5 楽しく熟議する！

「これが活性化した長岡だ！」意見集約①

A班	B班
<ul style="list-style-type: none"> ・ にぎわいのあるまち ・ イベントがたくさんあるまち ・ 施設の充実したまち ・ 人間力のあるまち ・ 可能性のあるまち ・ 自然と共生したまち ・ 住み良いまち ・ 人が訪れるまち ・ おいしいまち 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町がにぎやか ・ 自然が豊か ・ 食の魅力があふれている ・ 治安が良い安全な町 ・ 誇り ・ 若者が元気 ・ アクセスが良い ・ 職業が安定している ・ 現在ある施設を上手に利用している
C班	D班
<ul style="list-style-type: none"> ・ つながりのあるまち ・ 自然と暮らすまち ・ イベントのあるまち ・ 遊べるまち ・ 交通の便利なまち ・ 若い世代が集うまち ・ 人間性を育てるまち ・ オンリーワンのあるまち 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 儲かるまち ・ 観光が充実したまち ・ 楽しいまち ・ 交通アクセスが良いまち ・ スポーツが充実しているまち ・ 子育て・教育が充実したまち ・ 福祉が充実したまち ・ 名物・グルメが生まれるまち ・ 魅力あるまち ・ 雪を活かしたまち ・ 地元の物がちゃんとおいしいまち

「これが活性化した長岡だ！」意見集約②

E班	F班
<ul style="list-style-type: none"> ・ おまつりタウン ・ 大成功タウン ・ しあわせタウン ・ イベントタウン ・ こっつおタウン 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 魅力 ・ 食文化のブランド化 ・ 長岡の自然を活かす ・ 多様なイベント ・ 観光客増加 ・ 住みよい街 ・ 人の活性化
G班	H班
<ul style="list-style-type: none"> ・ 学ホール長岡 ・ すげろ長岡 ・ 来いて長岡 ・ 産もーれ長岡 ・ ノモール長岡 ・ うんめな長岡 ・ 酒けろ長岡 ・ アオール長岡 ・ べんりーな長岡 ・ 建てョール長岡 ・ 儲けよーれ長岡 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自然を活かした、人が来るまち ・ 地産地消のまち ・ 楽しめるまち ・ イベントのまち ・ 生活しやすいまち ・ 人があふれるまち ・ 人が集うまち ・ 明るいまち

意見の傾向

活性化した姿として・・・

- ◆ 豊かな自然を、観光や生活環境に活かしている
- ◆ 若者が多く居る・若者が住みたくなる
- ◆ 子供が多く居る・子育てがしやすい
- ◆ 食が豊であり、観光などに活かしている
- ◆ イベントが多々あり賑わいが見られる
- ◆ 教育等による、人が育つ環境がある

第1回討論会 検証

良かった点 (^o^)/

開始当初は硬い雰囲気も見られたが、「熟議」を用いる事により、まんべんなく参加者から多くの意見をもらう事が出来た。

悪かった点 ((+_+))

「長岡の活性化」を意識してもらった為のテーマ設定だったが、農業の話を取って欲しいとの声があった。

4月21日 柳原分庁舎
第2回討論会・勉強会

第2回討論会の内容

* 講演

- * テーマ
長岡の農業の現状と可能性について
- * 講師
長岡地域振興局 農業振興部 農業企画課長 小瀧信雄 様

* 討論会

- * 農業を通じた地域の活性化について
グループ内発表



第2回討論会のねらい

**長岡の農業の現状を知り、
自分と農業との関わりを考える**

農業についてもっと知ろう！！

元気な長岡プロデュース事業 研究編
～長岡地域振興局 小瀧信雄課長
講演会より～

1. 長岡農業の特徴について

1. 長岡農業の特徴について

問 題：長岡の農業生産額にしめる
米の割合は何%？

①54% ②74% ③94%

1. 長岡農業の特徴について

問 題：長岡の農業生産額にしめる
米の割合は何%？

①54% ②74% ③94%

1. 長岡農業の特徴について

問 題：長岡にある農産物直売所は
何店舗？

①16店舗 ②56店舗 ③106店舗

1. 長岡農業の特徴について

問 題：長岡にある農産物直売所は
何店舗？

①16店舗 ②56店舗 ③106店舗

1. 長岡農業の特徴について

まとめ

- ・農業生産額に占める米の割合は74%
⇒全県と比べて依存度が高い。
- ・農産物直売所は106店舗
⇒販売額は9億円超で増加傾向。
- ・総農家数は減少傾向。65歳以上が74%と
高齢化も進んでいる。

2. 新潟県農業の傾向について

2. 新潟県農業の傾向について

問 題：新潟県の農業人口は5年前に比べて何%減少している？

- ①1.4% ②23.4% ③53.4%



2. 新潟県農業の傾向について

問 題：新潟県の農業人口は5年前に比べて何%減少している？

- ①1.4% ②23.4% ③53.4%



2. 新潟県農業の傾向について

問 題：農産物の出荷先の大半はどこ？

- ①スーパーマーケット ②農協 ③自家消費

2. 新潟県農業の傾向について

問 題：農産物の出荷先の大半はどこ？

- ①スーパーマーケット ②農協 ③自家消費

2. 新潟県農業の傾向について

まとめ

- 農業人口は5年前に比べ**23.4%減少**。
高齢化も進む。
- 農産物の出荷は**農協が主体**。
消費者への**直接販売**も伸びている。
- **6次産業化**(農産物加工・観光農園・農家レストラン・輸出などの取り組み)は**増加傾向**だが、多くは**加工**まで。
- **法人化**を行い、**大規模化**する経営体も増加。

3. 日本の農業について

～農林水産省HP
農林水産基本データ集より～

3. 日本の農業について

問題：農産物輸入額**5.58兆円**に対し、
国内農業生産額は何兆円？

- ①4.66兆円 ②5.66兆円 ③6.66兆円

3. 日本の農業について

問題：農産物輸入額**5.58兆円**に対し、
国内農業生産額は何兆円？

- ①4.66兆円 ②5.66兆円 ③6.66兆円

3. 日本の農業について

問題：10a(約1000㎡)当たりの
米の生産費、**16万円**に対し、
売上は何万円？

- ①14万円 ②16万円 ③18万円

3. 日本の農業について

問題：10a(約1000㎡)当たりの
米の生産費、**16万円**に対し、
売上は何万円？

- ①14万円 ②16万円 ③18万円

3. 日本の農業について

まとめ

- 農産物輸入額**5.58兆円** > 国内農業生産額**4.66兆円**
- 米の生産費**16万円** > 米の売上**14万円** (10a当たり)
- 国内総生産額に対する農業生産額は**1%弱**。
- 米の国内生産量は年間**800万t**。
ピーク時は**1400万t超**。



4. 問題点、その他

- 新潟県の新規就農者は約250人。年間離農者を280人と予測しているため、現状維持ができない可能性も。
- 米への依存を断ち切り、園芸(野菜等)の拡大や、6次産業化を推進する。
- 長岡農林振興部は平成22年から商工業者とのマッチングを開催(農商工連携)。

第2回討論会 テーマ

あなたが考える「農業の魅力と可能性」とは？

×

あなた(個人・会社)のできることは？

『農業の魅力と可能性 × 私のできること』から地域の活性化を考えよう！

農業の魅力と可能性	私のできること
1.	1.
2.	2.
3.	3.
4.	4.
5.	5.

×

地域活性化のアイデア
1.
2.
3.
4.
5.

『農業の魅力と可能性』×『私の出来ること・したいこと』
⇒ 地域活性化のアイデア

- ・新しい販路を開拓することによる高付加価値化
- ・農業体験を通じた野菜嫌いの子を無くす
- ・「いやし」「達成感」「脱日常」をテーマとした農業体験
- ・長岡野菜を用いたレシピ開発
- ・農業と観光をつなげる
- ・農業と飲食店のコラボ
- ・ネットワークを用いた長岡野菜のブランド化・・・等々

⇒多種多様な意見

『農業の魅力と可能性』×『私の出来ること・したいこと』
⇒ 地域活性化のアイデア(7分野にカテゴリー分け)



第2回討論会 検証

良かった点 (*`ω´)

- ・農業の現状について専門家から学ぶことができた。
- ・参加者個人の視点から農業の魅力について語る
ことができた。
- ・次の討論会に向けて地域活性化策の萌芽が発見
された。

5月8日 まちなかキャンパス
第3回討論会

第3回討論会のねらい

農業の魅力と可能性
×
出来ること・したいこと
(7つのカテゴリー)

×

長岡の魅力・
アイデンティティー

⇒ 地域活性化策を考えよう！！

第3回討論会のゴール

農業を通じた
地域活性化策をあげる

第3回討論会の内容

* 討論会

- * 農業を通じた地域の活性化について
「農業の魅力と可能性×私のできること×長岡の魅
力」

* 全体発表

第3回討論会での資料



第3回討論会の様子



農業を通じた地域活性化の方向性について

A 班	
カテゴリー	活性化案
学ぶ・感じる・伝える	首都圏から小中学生を呼ぶ農業体験
稼ぐ・食べる・伝える	食べ物だけでなく農業ならではのサービスの提供
稼ぐ・食べる	長岡の農産物を地元の料理店で使う(地産地消)
稼ぐ・伝える	首都圏に長岡のアンテナショップ
食べる・伝える・繋がる	おにぎり選手権のようなイベント
伝える・繋がる	合併した旧11市町村のそれぞれの特産が分かるマップ
感じる・繋がる	会員制の農業体験クラブ。(田畑で働く→収穫した農産物を得る。)
稼ぐ・伝える	全国のコンビニやファミレスで売れる商品の開発
伝える・感じる・繋がる	山古志などの古民家をシェアハウス。みんなで農村生活
稼ぐ・繋がる	農家×飲食店の高談イベント
伝える・稼ぐ	昔ながらのコシヒカリを長岡のブランドに。

農業を通じた地域活性化の方向性について

B 班		対外的
カテゴリー	活性化案	
稼ぐ・感じる	雪下野菜のブランド化。生産だけではなく、収穫体験も。	
繋がる	雪かき・雪下ろしをスポーツ選手のトレーニングに。	
遊ぶ	農業と観光のテーマパーク	
感じる	田舎ではないなりの農業体験	
伝える	原始的な農作業風景を放送し、都会の人がバーチャル体験	
感じる	手軽な農業体験日帰りコースの設置	
繋がる	農地オーナー制度	
感じる	気軽な農業体験(アオーレで野菜のプランター栽培)	
学ぶ	農業の必修化(高学年)	
繋がる	「自分が食べるものは自分で作る」まち＝農業に真剣なまち	対内的
遊ぶ	「雪上サッカー」「泥んこサッカー」大会の開催	
食べる・伝える	地域食材を使ったラーメンの開発	

農業を通じた地域活性化の方向性について

C 班	
カテゴリー	活性化案
伝える・食べる	長岡でキャラ弁大会を開催(花火、五十六などテーマ設定)
遊ぶ	耕作地の有効利用(まつりの開催)
感じる	農業体験を実施(田植え、稲刈り、加工、販売まで一貫して)
伝える	長岡のPR小誌を作成
伝える・食べる	長岡産野菜のブランド化 1. もっとメディア等を利用して長岡野菜をPRする。 2. 長岡で採れた野菜は長岡市内のみで消費する。 (長岡に来なければ、食べれないという仕組み作り) 3. 特に秀でた物に限定してブランド化

農業を通じた地域活性化の方向性について

D 班	
カテゴリー	活性化案
繋がる	長岡の工業を活かした農業機械の開発
学ぶ	空き農地を生かし、子供を対象とした農・食に関する教育の実施
繋がる	長岡野菜のオーナー制度
稼ぐ	土地を貸す(期間限定)
繋がる	観光としての地産地消
繋がる・感じる	消費者と生産者が会う場づくり (食のイベントの継続的な開催、アオーレ長岡で農園体験)
繋がる	地元飲食店と農業者との連携(グリーンバンドの販売と特典の付与)
伝える	「米百俵」や「火焔土器」などを生かした取り組み
学ぶ・伝える	「新潟＝米」などのイメージを子供に教えることで農業を伝える
繋がる	地域社会をまとめる力を生かした高福祉の実現

第3回討論会 検証

悪かった点 ((((((;D))))))ガクガクブルブル

- ・7分野全てについて考えるのは難易度が高い
- ・長岡の魅力について意見が出なかった
- ・1グループの人数が多く、コーディネートとが難しい
- ・目指すところが漠然としていた

5月27日 クレアヘアモード専門学校
第4回討論会



第4回討論会のねらい

**7つのカテゴリー毎に
1つ地域活性化策を決める**

第4回討論会の内容

- * 討論会
 - * 農業を通じた地域の活性化について
7つの分野(遊ぶ・稼ぐ・感じる・学ぶ・食べる・繋がる・伝える)毎に
1つの地域活性化策を決める
- * 全体発表

第3回討論会までのお話

地域活性化への方向性の7つの分野
稼ぐ・食べる・遊ぶ・感じる・繋がる・伝える・学ぶ
に付いての多くの意見



出来るだけ7分野を網羅した事業を行いたい！

研究から実施へ

7つの農業を通じた
地域活性化の方向性



農と食のイベント事業
8月18、19日実施

農と食の集大成事業
11月実施予定

2つの事業を通じて7つの分野をカバー

第4回討論会のテーマ

今年実施する地域活性化策 をあげる

第4回討論会の資料



第4回討論会の結果

【学ぶ】「食糧調達サバイバルツアー」

理由：参加者の方に食材の収穫から調理、実食して頂くことで農業を体験し、長岡で採れた食材の味を知ってもらい、食の本質を知ってもらえるから

実施内容：都市部からの参加者と地元からの参加者を募り、1泊2日にて行う

【感じる】「来て・見て・嗅いで・想造力を駆り立て食べちゃおう！」

理由：食べるまでに行き着く過程を五感に訴えかけることにより、食についての感動を伝えたいから

実施内容：ヒーリングDVD（バーチャルで体験）＋現地（田・畑）で体験（試し）

第4回討論会の結果

【繋がる】「農家と市民の出会いの場」

理由：多くの市民に長岡農業を知ってもらい、興味を持たせるため

実施内容：アオーレ長岡を使い、長岡の一大イベントを目指す。

【食べる】「B級グルメ・メニューの開発と市内飲食店での提供」

理由：長岡の食材で作った料理を多くの人に食べてもらうため

実施内容：統一メニューを開発し、市内飲食店で提供したり、イベントなどで販売する。のほりなどのPRグッズを用いて、大々的にPR活動も行う。

第4回討論会の結果

【伝える】「メディアを使って、情報発信！！」

理由：農村文化・食文化・農家さんの紹介などを行い、生産者と消費者の距離を縮めるため。

実施内容：雑誌、facebook、HPを利用し情報発信を行い、電子化することで、文化のデータベースを構築する。

【儲かる】「農業版A級グルメの開発と普及」

理由：各地の生産者と飲食店との結びつけと各地の魅力の再発見とPR

実施内容：新長岡市をA級グルメで巡るツアー

第4回討論会の結果

【遊ぶ】「長岡をまるごと食べよう！スタンプラリー」

理由：長岡の地域資源や文化を知ることができるから
農家との距離を縮めることができるから

実施内容：長岡の農家を巡るスタンプラリーを行う

第4回討論会 検証

良かった点 キター(▽)ー!

- ・参加者に自分が希望するカテゴリーを選択してもらったので活発な議論が出来た
- ・全体のタイムキーパーを付けたことにより、時間通りに進めることができた
- ・少人数でのグループ討論の為、議論をまとめることが出来た

6月12日 まちなかキャンパス
第5回討論会

第5回討論会のゴール

事業実践に向けた
今後の方向性を定める

第5回討論会の手法



「熟議」



第5回討論会の内容

- I. 地域活性化策(草案)の発表
- II. チーム分け
- III. 草案のブラッシュアップ

地域活性化策(草案)の発表と
草案のブラッシュアップ

I. バーチャル農業ツアー

学ぶ 遊ぶ 伝える

- ＊長岡市内の農作物とその生産地域、農村風景や農業文化（お祭りなど）をデータベース化する
- ＊データベースを活用し、長岡震災アーカイブセンター「きおくみらい」内の地図上で、端末を使用して農業や風景などを閲覧できるようにする
- ＊数か所のポイントを見ることで各農場の生産物を入手できるなど「宝さがし」の要素を盛り込む



季節を問わずに楽しみながら長岡の農業について知ってもらい、理解を深めていただく

I. バーチャル農業ツアー

＜ブラッシュアップ意見＞

- 1:バーチャル体験から始まり、リアルな農業体験へ
 - 2:各地域公民館などへ情報発信の広域化を行う
 - 3:掲載情報の随時更新する
 - 4:「農業かるた」など遊び・ゲーム要素の追加
 - 5:販売との結びつけ
 - 6:オリジナルロゴなどブランディング
- Etc

II. 農業を学ぼう！フォーラム

学ぶ

- ＊「食の本質」と「味覚教育の大切さ」など食育の観点から農業フォーラムの講義を行う
- ＊元気な長岡プロデュース事業の成果と農業を通じた長岡の地域活性化に関する提言を行う



農業や食に関する知識を身につけていただく
また、農業を通じた長岡の地域活性化に関する提言により、農業へのかかわり方を考えていただく

II. 農業を学ぼう！フォーラム

＜ブラッシュアップ意見＞

- 1:フォーラム内で野菜料理などを提供し、旬を食べて農業を直に感じてもらう
 - 2:医食同源から食べることが体を作り、健康になる。
 - 3:年代別に興味を分けたフォーラムを開催
 - 4:青空農業教室
 - 5:フェアトレード(食べることでの社会貢献)
- etc

III. 長岡の農作物を味わう！

至高のメニューvs究極のメニュー

儲かる 食べる 伝える 繋がる

- ＊旬となる長岡の農作物を1つテーマとして取り上げ、市内の飲食店にメニューを開発していただき、発表する
- ＊旬ごとにテーマとなる農作物を変えて継続的に実施する
- ＊飲食店の対決なども実施する



料理を食べることを通じて、長岡の農産物を知ってもらい、興味を持っていただく

III. 長岡の農作物を味わう！

至高のメニューvs究極のメニュー

＜ブラッシュアップ意見＞

- ・レストラン部門、家庭料理部門など分けてメニュー開発
 - ・飲食店のメニュー分野ごとに実施
 - ・農家の農産物の見えるリスト作成し、飲食店に情報開示
 - ・優勝者へ賞金をだし、メダルをもたせる
 - ・お客さんに農産物メニューのレシピを教える
 - ・食材を複数使用する
- etc

Ⅳ. 未来の長岡農業サポーターに向けて発信！発信！

伝える

- ◆ 当事業の情報をFacebookなどインターネットを活用して広くサポーターに発信する
- ◆ 農村文化や食文化、農家の顔や思い、人柄、飲食店、レシピなどを紹介する当事業の冊子を作成する



農村文化や食文化、農業者などの紹介により、生産者と消費者の距離を縮め、長岡農業のサポーターの獲得を促す

Ⅳ. 未来の長岡農業サポーターに向けて発信！発信！

＜ブラッシュアップ意見＞

- ◆ ネットだけでなく、情報紙面、イベントの3つを用いて相互的に発信したほうが効果的
- ◆ 情報対象・内容を、市内と市外で分けるべき
- ◆ 市内ならば主婦層がターゲット
- ◆ 各グループの活性化策と長岡農業の情報を取りまとめ一括して発信を行う

Etc

第5回討論会 検証

良かった点 ♪～(´ε`)

- ◆ 付け加えた方が良かったこと、変えたほうが良かったことに絞って討論することで活発な議論が出来た
- ◆ 熟議を用いたことにより、意見集約しやすかった

当事業の目指すところ

長岡農業のサポーター育成！！



サポーター育成による効果【市民】



- ◆ 地元の農産物を買う
→ 安全への欲求、環境への意識の高まりなども期待できる
- ◆ 地元への興味がわく
→ 愛郷心が芽生える。地元が好きになり、その良さを他人に伝えたいくなる



サポーター育成による効果【生産者】



- ◆ より一層消費者の希望に応えたいくなる。
→ 更なる生産技術の向上。
- ◆ 収入が上昇し経営が安定する。
→ 雇用の創出・経営規模拡大・生産性の向上

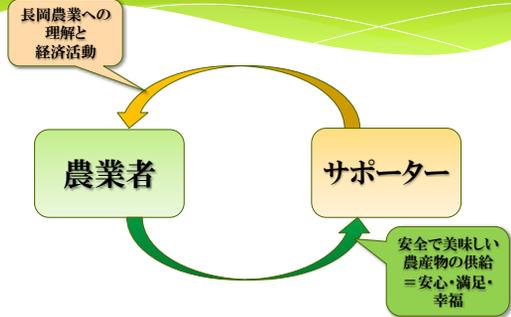


サポーター育成による効果【他地域の人】



- ◆ 観光に訪れる
- ◆ 買い物に来る
- ◆ 取り寄せる

幸福感・経済効果の相互作用



安心・満足・幸福の提供

まずはサポーターになる可能性のある皆さんに、
安心感・満足感・幸福感を提供する事業を構築しよう

・・・農業の現状を知って安心、美味しい農産物が食べれて幸せ、良い物を適正な価格で買って満足、観光で来たら美味しい物と出会えて幸せ、農業を身近に感じられて安心、農業を通し人と出会って幸せ etc

今後の事業の流れ(予定)

